

- 位置情報管理機能を備えたシャーシのシェアリング導入に向け、導入効果や運用上の課題を把握することを目的に、横浜港においてシャーシの位置情報管理及びシャーシシェアリングの実証実験を実施する。
- シャーシ位置情報管理の実証実験においては、シャーシの動態把握と位置情報の活用方法を検討すると共に、位置情報管理システムの実用化に向けたデバイスの適切な設置方法や運用方法を検証する。
(陸運事業者)
シャーシの位置情報による管理は新しい試みであり、このデータを有効活用していきたい。
- シャーシシェアリングの実証実験においては、シェアリング用シャーシを活用した輸送や車両管理の効率化の検証すると共に、シャーシシェアリングの予約・マッチングシステムの使い勝手やシステムの運用方法を評価するとともに、実用化に向けた課題を抽出する。また、シェアリング用シャーシを運送事業用車両として利用するにあたって必要となる法的手続きを確認する。
(陸運事業者)
シェアリング用のシャーシについて、予めフル積載コンテナを積載できるものを揃えていただきたい。また、兼用シャーシについて、20ftコンテナを中央に積むタイプは(オンシャーシでドック着けした時)直接荷役できないという問題がある。
(事務局)
シェアリング用シャーシについては、ご指摘事項への対応を検討する。
- 関東運輸局において、シャーシシェアリングの実証実験期間中、シャーシとトラクタの標準的な型式の組合せについては、自動車検査証とともに諸元表を携帯することで、記載変更手続きを不要とする取り扱いを試行する。
(陸運事業者)
車両諸元表を携帯することで、実証実験における手続き関係が省略可能となることは非常にありがたい。今回の実験時における自動車検査証の手続き簡素化や特車申請の簡素化は、非常に有効な手段と考える。